| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

- 1. (**必須)** 次の問いに答えよ。
 - 1. 使用するブラウザの名称とバージョン
 - 2. そのブラウザでの開発者ツールの開き方とタブの種類

3. 簡単な式を実行させたときのキャプチャ画面を印刷してこの提出用紙とまとめて提出する。

2. (必須) 課題 1.2 の実行結果の報告をしなさい。自分で内容を変更してもかまわない (ここまでが必須)。内容を変更したり、独自のコードを付け加えてもよい。その場合にはプログラムリストや考察もつけること。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次のとおりである。

- 通常使用しているブラウザにおいて JavaScript のプログラムがデバッグできるツールになっていることを理解し、使いこなせるようにする。
- 簡単な HTML 文書からデバッグをする方法を身に着ける。

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|----------------------------------|---|--|---|---|
| 問題 1.1 (必須) (5 点) | □使用したブラウザに関する情報を 示すキャプチャ画面がある。 □キャプチャ画面内で名称、バージョ ンが読み取れる。 □キャプチャ画面に基づいて正しく 記述している。 | □使用したブラウザのバージョンを表示するページのキャプチャ画面がある □キャプチャ画面がブラウザ画面全体になっている。 □キャプチャ画面内のブラウザの名称、バージョンが読みとれる。 □ブラウザ名とバージョンをすべて記述している。 □使用したブラウザの名称がある。 □使用したブラウザのバージョンがある。 | □使用したブラウザのバージョンを表示するキャプチャ画面がない。 □キャプチャ画面がブラウザ画面全体になっていない。 □キャプチャ画面内のブラウザの名称、バージョンが読みにくいか全く読めない。 □ブラウザ名とバージョンがないか、一部しか記述していない。 □使用したブラウザの名称がないか、正確ではない。 □使用したブラウザのバージョンがない。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 1.2 (必須) (5 点) | □使用したブラウザでの開発者ツールの開き方が書いてある。 □開発者ツールにあるタブの種類がほとんどすべて書いてあり、重要なものについて目的が書いてある。 | □使用したブラウザでの開発者ツールは開き方についての記述がある。 □開発者ツールにあるタブの種類のうち、「Elements」、「console」、「Sources」、「Application」について説明がある。(Chrome の場合) □開発者ツールにあるタブの残りの種類について説明がある。 | □使用したブラウザでの開発者ツールは開き方について説明がない。 □開発者ツールにあるタブの種類で重要なものが足りない。 □開発者ツールにあるタブの説明がほとんどないか全くない。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 1.3 (必須) (10 点) | □開発者ツールで実行した結果が十分にあり、それらの種類が多い。 □開発者ツールで実行した結果が分かるような大きさのフォントでキャプチャされている。 □充分な考察がある。 | □開発者ツールで実行した結果が 10 つ以上ある。 □開発者ツールで実行した結果の種類が 3 つ以上ある。 □開発者ツールで実行した結果のキャプチャ画面がブラウザ全体になっている。 □開発者ツールで実行した結果のキャプチャ画面が見やすい。 □考察がある。 | □開発者ツールで実行した結果が少ない。 □開発者ツールで実行した結果の種類が少ない。 □開発者ツールで実行した結果のキャプチャ画面の範囲が狭いか、ない。 □開発者ツールで実行した結果のキャプチャ画面で結果の確認ができない。 □考察がない。 □キャプチャ画面の用紙が張り付けてないか、貼り付けかたに問題がある。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

次のページに続きがあります

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|------------------|---|--|--|---|
| 問題 2 (必須) (10 点) | □実行結果のキャプチャが実行結果が見やすい。 □実行結果に関する考察が十分にある。 □Strict モードでの実行結果が十分に読み取れる。 □Strict モードでの実行について十分な解説と考察がある。 | □foo();を実行した結果と、その後にi;を実行した結果がある。 □変数iの宣言を省略したときの実行結果がある。 □変数の宣言の有無の違いの考察がある。 □実行結果に関する考察が十分である。 □Strict モードでの実行結果の内容が読みとれる。 □Strict モードでの実行結果がある。 □Strict モードでの実行結果がある。 □Strict モードでの実行結果がある。 □Strict モードでの実行結果がある。 □Strict モードでの実行結果がある。 □Strict モードでの実行結果がある。 □対象がある。 | □変数iの宣言を省略したときの実行結果がないか、間違っている。 □変数の宣言の有無の違いの考察がないか、間違っている。 □実行結果に関する考察がないか、不十分である。 □Strict モードでの実行結果が見にくい。 □Strict モードでの実行結果がないか、不十分である。 □Strict モードでの実行結果がないか、不十分である。 □Strict モードでの実行結果の解説と考察がないか、不十分である。 □実行結果のキャプチャ内の内容が小さすぎて読みくいか、読めない。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |
| 問題 2 (10 点) | □HTML ファイルの JavaScript の 部分に独自のプログラムを付け加 えていて、十分な解説と考察がある。 □実行結果のキャプチャ内実行結果が十分に読み取れる。 | □HTMLファイルのJavaScriptの部分に独自のプログラムを付け加えている。 □付け加えたコードに独創性がある。 □付け加えたコードの十分な解説がある。 □実行結果のキャプチャ内の実行結果が読みとれる。 □実行結果に関する考察がある。 | □HTMLファイルのJavaScriptの部分に独自のプログラムを付け加えていない。 □付け加えたコードに独創性がない。 □付け加えたコードの十分な解説が少ないか、不十分である。 □実行結果のキャプチャ内の実行結果が読みとれない。 □実行結果に関する考察が少ないかない。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

| | ソフトウェア開発 | | | | | |
|-----------------|----------------------|---------------------------------|-----------------------|--------------------|------------|------------|
| 1. | (必須) 次の実行結果を | を確かめなさい。 | | | | |
| 1. | "0123456789".inde | xOf("1"); | | | <u>1.</u> | |
| 2. | "0123456789".inde | xOf("a"); | | | 2. | |
| 3. | "0123456789".inde | xOf("1",2); | | | 3. | |
| 4. | "0,1,2,3".split(" | , "); | | | 4. | |
| 5. | "0,1,2,3".split(" | ,",2); | | | <u>5.</u> | |
| 6. | "0123".split(""); | | | | 6. | |
| 7. | "0123456789".subs | tring(3); | | | <u>7.</u> | |
| 8. | "0123456789".subs | tring(-3); | | | 8. | |
| 9. | "0123456789".subs | tring(3,5); | | | 9. | |
| 10. | "0123456789".slic | e(-3); | | | <u>10.</u> | |
| 11. | "0123456789".slic | e(3,5); | | | <u>11.</u> | |
| 12. | "0123456789".slic | e(3,-3); | | | <u>12.</u> | |
| 2. | (必須) 次の実行結果を | を確かめなさい。 | | | | |
| 1. | [,[,a]] = [1,[2,3 | ,4],5]; console.log(| (a); | | 1. | |
| 2. | a=10;b=20;[b,a]=[| a,b];console.log(a); | console.log(b) | | 2. | |
| 3. いこ | ` ' | を確かめなさい。なお、2 | 2 以降をコンソールで連絡 | 売して行う場合には3 | 以降にあ | る let はつけな |
| 1. | [1,2,[],3].length | ; | | | | 1. |
| 2. | let a=[1,2,3]; co | <pre>nsole.log(a.pop());</pre> | console.log(a.length |);a; | | 2. |
| 3. | let a=[1,2,3]; a. | <pre>push(4,5); console.1</pre> | og(a.length);a; | | | 3. |
| 4. | let a=[1,2,3]; a. | shift(4,5); console. | log(a.length);a; | | | 4. |
| 5. | let a=[1,2,3]; a. | join(" "); | | | | 5. |
| 6. | let a=[1,2,3,4,5] | ; console.log(a.slic | e(1,2)); console.log | (a.length);a; | | 6. |
| 7. | let a=[1,2,3,4,5] | ; console.log(a.spli | ce(1,2)); console.lo | g(a.length);a; | | 7. |
| 8. | let a=[1,2,3,4,5] | ; console.log(a.inde | exOf(3)); console.log | (a.indexOf(3,3)); | | 8. |
| 9. | let a=[3,1,2,3,4, | 5]; console.log(a.la | stIndexOf(3)); conso | le.log(a.lastIndex | Of(3,2) |); 9. |
| 4. とす | ` ' | かる式を答えよ。与えら ね | れた日時は変数 theDay に | こDate オブジェクトと | して与え | .られているもの |
| 1. | 与えられた日時から | 1 週間後の日時 | | <u>1.</u> | | |
| 2. | 与えられた日時の翌月 | 月の1日 | | 2. | | |

3. 与えられた日時の前の月の最終日

4. 与えられた日時の月の第1月曜日

5. (必須) 次の式の評価結果を求めなさい。

| 式 | 結果 | 理由 |
|---------------------|----|----|
| 4+"5" | | |
| 4-"5" | | |
| 4+"ff" | | |
| 4+"0xff" | | |
| 4-"0xff" | | |
| 4+parseInt("ff") | | |
| 4+parseInt("0xff") | | |
| 4+parseInt("ff",16) | | |
| 4+"1e1" | | |
| 4+parseInt("1e1") | | |
| 4+parseFloat("1e1") | | |
| "4"*"5" | | |
| "4"/"5" | | |
| [].length | | |
| [[]].length | | |
| 0 == "0" | | |
| 0 == [] | | |
| "0" == [] | | |
| ! [] | | |
| false == [] | | |
| false == undefined | | |
| [] == [] | | |
| typeof [] | | |
| null == undefined | | |
| a=[], b=a, a==b; | | |

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次のとおりである。

- 文字列ののメソッドを用いた文字列の取り扱いに慣れる。
- 分割代入を理解する。
- 配列のプロパティとメソッドの利用法を理解する。
- Date オブジェクトの利用方法を学ぶ。
- JavaScript のプログラミングで他の言語と異なる点を理解する。できれば自分で整理することが望ましい。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|-----------------------------------|---------------------------------|--|---|---|
| | | □indexOf()メソッドの解答がすべて正しい。 | □indexOf()メソッドの解答に間違 いがかなりある。 | |
| | □与えられた課題の解答がすべて正 | □split() メソッドの解答がすべて 正しい。 | □split() メソッドの解答に間違い がかなりあるが。 | 6 5 |
| 問題 1 (必須) (6 点) | しい。 □substringとsliceの違いについ | □substring() メソッドの解答がす べて正しい。 | □substring() メソッドの解答に間 違いがかなりある。 | $\begin{array}{ c c }\hline 4\\3\\2\\\end{array}$ |
| (6点) Usubstring 2 slic て考察がある。 | て考察がある。 | □slice() メソッドの解答がすべて 正しい。 | □slice() メソッドの解答に間違い がかなりある。 | 1 0 |
| | | □substring と slice の違いについ て考察が少しある。 | □substring と slice の違いの考察がないか、間違っている。 | |
| HH HE O | □分割代入の解答がすべて正しい。 | □分割代入の1の解答が正しい。 | □分割代入の1の解答が間違ってい る。 | 4 |
| 問題 2 (必須) (4 点) | □分割代入に関する適切な考察があ | □分割代入の2の解答が正しい。 | □分割代入の2の解答が間違っている。 | $\begin{bmatrix} 3 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ |
| (4 24) |) | □分割代入の2に関する考察がある。 - | □分割代入の2に関する考察がない。 | 0 |
| | | □配列のメソッド length の解答が 正しい。 | □配列のメソッド length の解答が 間違っている。 | |
| | | □配列のメソッド pop の解答が正し い。 | □配列のメソッド pop の解答が間違っ ている。 | |
| | | □配列のメソッド push の解答が正 しい。 | □配列のメソッド push の解答が間 違っている。 | |
| | | □配列のメソッド shift の解答が正 しい。 | □配列のメソッド shift の解答が間 違っている。 | |
| | | □配列のメソッド join の解答が正 しい。 | □配列のメソッド pop、push、shift の利用法について考察がない。 | |
| 問題 3 | □配列のメソッドに関する解答がす べて正しい。 | □配列のメソッドpop、push、shift の利用法について考察がある。 | □配列のメソッド join の解答が間 違っている。 | 5 4 3 |
| (必須) (5 点) | □それぞれのメソッドの使い方に関 して適切な考察がある。 | □配列のメソッド slice の解答が正 しい。 | □配列のメソッド slice の解答が間 違っている。 | $\begin{bmatrix} 3\\2\\1 \end{bmatrix}$ |
| | しく適切な考祭かめる。 | □配列のメソッド splice の解答が 正しい。 | □配列のメソッド splice の解答が 間違っている。 | 0 |
| | | □配列のメソッド slice と splice の違いについて考察がある。 | □配列のメソッド slice と splice の違いについて考察がない。 | |
| | | □配列のメソッド indexOf の解答が 正しい。 | □配列のメソッド indexOf の解答が 間違っている。 | |
| | | □配列のメソッド lastIndexOf の解 答が正しい。 | □配列のメソッドlastIndexOfの解 答が間違っている。 | |
| | | □配列のメソッド indexOf と lastIndexOf の違いについて考 | □配列のメソッド indexOf と lastIndexOf の違いについて考 | |
| | | 察がある。 | 察がない。 次のページに続きがあります | |

| the last to | The state of the s | Cont. VII. 1.1 | ソフトウェア開発課題第2回演 | |
|------------------|--|---|--|--|
| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
| 問題 4 (必須) (8 点) | □解答がすべて目的にかなっている。□コードの質すべて良い。□充分なデバッグを行った報告がある。 | □1 週間後の日時のコードが正しく動作する。 □1 週間後の日時のコードに改良点がある。 □翌月の1日のコードが正しく動作する。 □翌月の1日ののコードに改良点がある。 □前の月の最終日のコードが正しく動作する。 □前の月の最終日のコードに改良点がある。 □月の第1日曜日のコードが正しく動作する。 □月の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 □内の第1日曜日のコードに改良点がある。 | □1 週間後の日時のコードが正しく動作しない。 □翌月の1日のコードが正しく動作しない。 □前の月の最終日のコードが正しく動作しない。 □月の第1日曜日のコードが正しく動作しない。 □動作確認の報告がほとんどないか全くない。 | 8 7 6 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 5 (必須) (12 点) | □すべての結果が正しい。□すべての項目の説明が正しい。 | □文字列に対する+演算子の結果が正しい。 □文字列に対する+演算子の結果の理由が正しい。 □組み込み関数の parseInt() とparseFloat() の結果が正しい。 □組み込み関数の parseInt() とparseFloat() の結果の理由が正しい。 □文字列に対する*や/の演算子の結果が正しい。 □文字列に対する*や/の演算子の結果が正しい。 □配列のlengthプロパティの結果が正しい。 □配列のlengthプロパティの結果の理由が正しい。 □=演算子の結果が正しい。 □==演算子の結果が正しい。 □==演算子の結果の理由が正しい。 □配列に対する==演算子の結果が正しい。 □配列に対する==演算子の結果の理由が正しい。 □配列に対する==演算子の結果の理由が正しい。 | □文字列に対する+演算子の結果に間違いが多い。 □文字列に対する+演算子の結果の理由に間違いが多い。 □組み込み関数の parseInt() とparseFloat() の結果に間違いが多い。 □組み込み関数の parseInt() とparseFloat() の結果の理由に間違いが多い。 □文字列に対する*や/の演算子の結果に間違いが多い。 □文字列に対する*や/の演算子の結果に間違いが多い。 □配列の length プロパティの結果に間違いが多い。 □配列の length プロパティの結果の理由に間違いが多い。 □ニ演算子の結果に間違いが多い。 □ニョ演算子の結果の理由に間違いが多い。 □配列に対する==演算子の結果が間違いが多い。 □配列に対する==演算子の結果の理由が間違いが多い。 □配列に対する==演算子の結果の理由が間違いが多い。 | 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 |

| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

1. (必須)次のプログラムを実行したときのコンソールの出力を記せ。また、その理由も述べよ。

```
function sum(a, b){
   return a+b;
}
console.log(sum(1,2)); //(1)
console.log(sum(1)); //(2)
function sum(a, b, c){
   return a+b+c;
}
console.log(sum(1,2,3)); //(3)
console.log(sum(1,2)); //(4)
(1) (2) (3) (4)
```

理由:

- 2. (必須) 実行例 3.2 で定義した関数 sumN について次の問いに答えよ。
 - 1. sumN() の結果はなにか。
 - 2. 配列 a の要素がすべて数値のとき、sumN()を用いて a の要素の総和を求める方法を述べよ。
- 3. (必須) 実行例 3.3 における変数の宣言をすべて let から var に変えて func1() から func5() まで順に関数を実行した結果を記せ。

```
>func1();
>func2();
>func3();
>func4();
```

>func5();

| コンソールの出力結果 | |
|---|----------------|
| 動作の違いの説明 | |
| 5. (必須) 実行例 3.5 から 3.8 における f1()、foo()、f2() と f3() の動作を確認しなさい。コンソール画面のキャプチを貼り付けるか別紙で添付のこと。 | - 4 |
| 実行例 3.5 の実行結果の確認 実行例 3.5 の実行結果の考察 | |
| 実行例 3.6 の実行結果の確認 | |
| ● 実行例 3.6 の実行結果の考察 | |
| ● 実行例 3.7 の実行結果の確認 | |
| ● 実行例 3.7 の実行結果の考察 | |
| ● 実行例 3.8 の実行結果の確認 | |
| 実行例 3.8 の実行結果の考察 | |

4. 課題 3.4 のコンソールの出力結果と動作を確認しなさい。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次のとおりである。

- 関数の定義方法、仮引数の取り扱いを理解する。
- 変数のスコープとクロージャの使い方を理解する。
- 変数の宣言における var を使わない理由を正しく説明できる。
- コールバック関数の概念や即時実行関数の利用法を理解する。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|--------------------------------|--|--|---|----------------------------|
| 問題 1 (必須) (5 点) | □コンソールへの出力結果がすべて 正しい。 □結果に対する理由が正しく述べら れている。 | □コンソールへの出力結果 (1) が正しい。 □コンソールへの出力結果 (2) が正しい。 □コンソールへの出力結果 (3) が正しい。 □コンソールへの出力結果 (4) が正しい。 □関数の定義位置についての理由が正しい。 □不足する関数の仮引数の説明が正しい。 □関数の戻り値の計算についての説明が正しい。 | □関数の定義位置についての理由が ほとんど間違っているか正しくない。 □不足する関数の仮引数の説明がほ とんど間違っているか正しくない。 □関数の戻り値の計算についての説 明がほとんど間違っているか正しくない。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 2 (必須) (5 点) | □十分な場合について sumN() を実 行していて、結果に対する考察も 正しい。 □配列を使って sumN() を正しく実 行させる方法を説明している | □sumN()の実行に関して引数の数を変えて実行している場合が十分ある。 □sumN()の実行結果に対する考察が正しい。 □配列を使ってsumN()を正しく実行させる方法をほとんど正しく説明している | □sumN()の実行に関して引数の数を変えて実行していないか、その数が足りない。 □sumN()の実行結果に対する考察がないか、ほとんど間違っている。 □配列を使ってsumN()を正しく実行させる方法がないか、説明が間違っている。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 3 (必 須) (5 点) | □変数の宣言をすべて var に変更して実行している。 □実行された結果がすべて正しい。 □実行結果に対して十分な考察がある。 □var と let による変数の宣言の違いに関して考察がある。 | □func1() の実行結果が正しい。 □func1() の実行結果の考察が正しい。 □func2() の実行結果が正しい。 □func2() の実行結果が正しい。 □func3() の実行結果が正しい。 □func3() の実行結果が正しい。 □func4() の実行結果が正しい。 □func4() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 □func5() の実行結果が正しい。 | □func1() の実行結果が間違っている。 □func1() の実行結果の考察がないか間違っている。 □func2() の実行結果が間違っている。 □func2() の実行結果の考察がないか間違っている。 □func3() の実行結果が間違っている。 □func3() の実行結果が間違っている。 □func4() の実行結果が間違っている。 □func4() の実行結果が間違っている。 □func4() の実行結果が間違っている。 □func5() の実行結果が間違っている。 □func5() の実行結果が間違っている。 □func5() の実行結果が間違っている。 | 5 4 3 2 1 0 |

ソフトウェア開発課題第3回演習-p.4

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|------------|--|------------------------------------|---|---|
| | □コンソールの出力がキャプチャで 正しく表示されている。 | □コンソールの出力結果が正しく答 えている。 | □コンソールの出力結果が間違って いる。 | 5 4 |
| 問題 4 (5 点) | □独自のコードの十分な解説がある。 | □独自のコードの解説がある。一部 不足や間違いが見受けられる。 | □独自のコードの解説がないか、不 足や間違いが多く見受けられる。 | 3 2 |
| | □動作の説明が的確である。 | □動作の説明に一部不足や間違いが 見受けられる。 | □動作の説明がないか、一部不足や 間違いが多く見受けられる。 | 1 0 |
| | □実行例3.5の実行結果をテキストよ りも場合を増やして確認している。 | □実行例 3.5 の実行結果をテキスト の場合で確認している。 | □実行例 3.5 の実行結果をテキスト の場合より少ない場合で確認して いる。 | |
| | □実行例 3.5 のリストを改良している。 | □実行例 3.5 のリストをそのまま実 行している。 | □実行例 3.5 のリストのまま実行していない。 | |
| | □実行例 3.5 に関する考察が的確で ある。 | □実行例 3.5 に関する考察がほぼ正 しい。 | □実行例 3.5 に関する考察がないか 間違っている。 | |
| | □実行例3.6の実行結果をテキストよりも場合を増やして確認している。 | □実行例 3.6 の実行結果をテキスト の場合で確認している。 | □実行例 3.6 の実行結果をテキスト の場合より少ない場合で確認して | |
| | □実行例 3.6 のリストを改良している。 | □実行例 3.6 のリストをそのまま実 行している。 | いる。 □実行例 3.6 のリストのまま実行し | 10 9 |
| | □実行例 3.6 に関する考察が的確で ある。 | □実行例 3.6 に関する考察がほぼ正 しい。 | ていない。 □実行例 3.6 に関する考察がないか | 8 7 |
| 問題 5 | □実行例3.7の実行結果をテキストよりも場合を増やして確認している。 | □実行例 3.7 の実行結果をテキスト の場合で確認している。 | 間違っている。 □実行例 3.7 の実行結果をテキスト | 6 5 |
| (10 点) | □実行例 3.7 のリストを改良している。 | □実行例 3.7 のリストをそのまま実 行している。 | の場合より少ない場合で確認している。 | $\begin{bmatrix} 4\\3\\2 \end{bmatrix}$ |
| | □実行例 3.7 に関する考察が的確で ある。 | □実行例 3.7 に関する考察がほぼ正 しい。 | □実行例 3.7 のリストのまま実行し ていない。 | $\begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ |
| | □実行例3.8の実行結果をテキストよりも場合を増やして確認している。 | □実行例 3.8 の実行結果をテキスト の場合で確認している。 | □実行例 3.7 に関する考察がないか 間違っている。 | |
| | □実行例 3.8 のリストを改良している。 | □実行例 3.8 のリストをそのまま実 行している。 | □実行例 3.8 の実行結果をテキスト の場合より少ない場合で確認して いる。 | |
| | □実行例 3.8 に関する考察が的確である。 | □実行例 3.8 に関する考察がほぼ正 しい。 | いる。 □実行例 3.8 のリストのまま実行し ていない。 | |
| | □実行例 3.7 と 3.8 の結果などを比 較検討している。 | □実行例 3.7 と 3.8 の結果などの比較がない。 | □実行例 3.8 に関する考察がないか 間違っている。 | |

| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

- 1. (必須)window オブジェクトにはどのようなプロパティがあるか調べよ。2つ以上のブラウザで実行し、比較すること。 console を開くページは何も表示されない Web ページを作成して行うこと。実行結果は長くなるので小さめのフォントでレポートを作成すること。結果と考察は別紙で提出のこと。
- 2. (必須) 実行例 4.2 において、
- s3 = JSON.stringify(persons,["year"]);

としたときの結果はどうなるか調べなさい。

3. (必須) 実行例 4.1 と同様に、class を用いて作成されたインスタンスについてプロパティの値の変更、プロパティの追加ができるか確認しなさい。

実行結果は別紙に印刷して提出のこと。

- 4. 指定された日付における年令を求めるメソッドを作成しなさい。求める年齢は次の条件を満たすこと。
 - 引数がない場合には age と同じ
 - 年しかない場合にはその年の1月1日現在
 - 年と月しかない場合にはその年月の1日現在

| get がある場合とない場合の実行方法の違い | | |
|---------------------------|--|--|
| | | |
| get がある場合とない場合のメソッドの定義の違い | | |
| | | |
| | | |
| | | |

6. 実行例 4.4 において、age プロパティがセッターとして使われたときには注意を促すメッセージを表示するようにしな

5. (必須) 実行例 4.5 のリストにあるプロトタイプメソッド age() の前にある get を省略して通常のメソッドとして定義

しときの実行方法について報告せよ。また、get がある場合とない場合の違いを述べよ。

さい。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次のとおりである。

- window オブジェクトの内容を理解する。
- JSON の構造と取り扱いを理解する。
- classによるオブジェクトの作成方法とプロパティの取り扱いを他のオブジェクト指向言語との比較で理解する。
- メソッドとプロパティの宣言と使用法の違いを理解する。

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| | 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---|------|---|--|--|--------------------------------------|
| 問題 2 (必須) (5 点) □ 計算 (2 を) ではいる。 □ 表情 (2 を) ではいる。 □ 表情 (2 を) ではいる。 □ 大きない。 □ は、はない。 □ 大きない。 □ は、はない。 □ はないない。 □ はないない。 □ はないないない。 □ はないないない。 □ はないないないないないない。 □ はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | (必須) | の十分なリストがある。 □window オブジェクトのプロパティに関して十分な考察がある。 □window オブジェクトをページを何も表示しないページで行っている。 □window オブジェクトを調べるためにページを開いた直後にコンソールで行っているか、JavaSript のプ | のリストがそれなりにある。 □window オブジェクトのプロパティに関して考察が少しある。 □window オブジェクトを調べるページが既存のものになっている。 □window オブジェクトを調べるためにページを開いた直後に行ってい | のリストの数が少なすぎる。 □window オブジェクトのプロパティに関して考察がない。 □window オブジェクトを調べるページが既存のものになっている。 □window オブジェクトを調べるためにページを開いた直後に行ってい | 9 8 7 6 5 4 3 2 |
| 問題 3 (必須) (5点) □ クラスで作成されたインスタンスについて十分な実行結果がある。 □ クラスで作成されたインスタンスについて十分な実行結果がある。 □ クラスで作成されたインスタンスのプロパティの追加の実行結果がある。 □ クラスで作成されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がある。 □ クラスで作成されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がある。 □ クラスで作成されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がないが不十分である。 □ カッロパティ列挙の連続されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がないが不十分である。 □ カッロパティ列挙の実行結果がないが不十分である。 □ カッロパティ列挙の実行結果がないが不十分である。 □ カッロパティ列挙の実行結果がないが不十分である。 □ カッロパティ列挙の連続を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を | (必須) | □設問以外のメンバーについても実 行している。 | | | 4 3 2 1 |
| は | (必須) | について十分な実行結果がある。 | のプロパティの値の変更の実行結果がある。 □クラスで作成されたインスタンスのプロパティの追加の実行結果がある。 □クラスで作成されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がある。 | のプロパティの値の変更の実行結果がないか不十分である。 □クラスで作成されたインスタンスのプロパティの追加の実行結果がないか不十分である。 □クラスで作成されたインスタンスのプロパティ列挙の実行結果がないか不十分である。 | 4 3 2 1 |
| 国動作の推認が少したりない。 国動作の推認の場合がたりない。 | | ドが作成されている。 □リストがあり、解説が十分にある。 □十分な実行結果とそれに関する考 | ない。 □条件を満たす引数の数が異なる複数のメソッドを作成している。 □メソッドの定義が正しい。 □引数がない場合には age と同じに動作する。 □年しかない場合にはその年の1月1日現在の年令が正しく求まる。 □年と月しかない場合にはその年月の1日現在の年令が正しく求まる。 □引数にデフォルトの値を与えてい | □リストの解説がない。 □メソッドの定義に間違いがある。 □引数がない場合には age と同じに動作しない。 □年しかない場合にはその年の1月1日現在の年令が正しく求まっていない。 □年と月しかない場合にはその年月の1日現在の年令が正しく求まっていない。 □引数にデフォルトの値を与えてい | 9 8 7 6 5 4 3 2 |

ソフトウェア開発課題第 4 回演習-p.4

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|-------------------------------|--|--|---|---|
| 問題 5 (必須) (5 点) | □get を省略して通常のメソッドとしたときの実行方法が正しい。 □get がある場合とない場合の機能の違いを2つ以上正しく指摘している。 □考察が十分にあり、正しい。 | □get を省略して通常のメソッドとしたときの実行方法に勘違いがある。 □get がある場合とない場合の機能の違いを正しく指摘している。 □考察があり、正しい。 | □get を省略して通常のメソッドとしたときの実行方法が間違っている。 □get がある場合とない場合の機能の違いの指摘が十分でないか間違っている。 □考察がほとんどないか間違っている。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 6 (10 点) | □問題で指定された機能を持つセッターが作成されている。 □作成したプログラムのリストに適切なインデントがあり、読みやすい。 □作成したプログラムのリストの解説が十分にある。 □十分な実行結果とそれに関する考察がある。 | □セッターの定義が正しい。 □エラーメッセージの出力がある。 □作成したプログラムのリストがある。 □作成したプログラムのリストの解説が十分ではない。 □動作の確認が少し足りない。 | □作成したプログラムのリストがない。 □作成したプログラムのリストの解説がない。 □セッターの定義で値を変更している。 □エラーメッセージが出力されていない。 □動作の確認の場合が足りない。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

- 1. (必須) 実行例 4.3 のクラスの記述に対して次のことを行いなさい。
 - 1. 実行例 5.3 のようにオブジェクトの extensible 属性を変更したときの結果を比較せよ。
 - 2. クラス Person を freeze できるか確認せよ。また、freeze 後に新規にインスタンスを作成したとき、インスタンス は freeze されているか確認せよ。

結果は別紙で提出のこと

2. (必須) 実行例 4.4 O Person 2 prototype を調べよ。

結果は別紙にしてもよい。

- **3.** 実行例 5.6 において次の問いに答えよ。
 - 1. (必須)typeof p.name の値を確かめよ。
 - 2. (必須)delete p.name の結果が true であるのに p.name がその後も参照できる理由は何か。
 - 3. (必須)p. birthday にプロパティは追加できるか。また、プロパティを消去できるか確かめよ。
 - 4. (必須)p.birthday.year の値が書き直せる理由は何か。
 - 5. p.birthday.year の値を書き直せないように birthday メソッドを書き直せ。

| 結果はキャプチャ画面を貼り付けること |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| 5. 実行例 5.7 においてエラーチェックが完全ではない点を指摘し、その部分を改良しなさい。 |
| 結果はリストを貼り付けること |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

4. (必須)Person を継承した Student クラスでエラーチェックができていることを確認しなさい。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次の項目を理解することである。

- 関数を用いたオブジェクト指向の基礎
- extensible 属性の種類と機能
- prototype 属性
- オブジェクトの操作を限定し、より信頼性の高いオブジェクトの作成方法
- エラー処理

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---|--|---|---|--|
| 問題 1 (必須) (6 点) | □クラスから作成したオブジェクトの extensible 属性を変更したときの結果が配布資料以上にある。 □オブジェクトで作成したものとクラスから作成したものとの比較が十分にある。 □クラス Person を freeze できるか、freeze 後作成したインスタンスが freeze されているか確認し、それに対する考察がある。 | □オブジェクトの extensible 属性のうち拡張 (preventExtensions) に関する結果が設定前後で確認してあり、考察もある。 □オブジェクトの extensible 属性のうち削除 (seal) に関する結果が設定前後で確認してあり、考察もある。 □オブジェクトの extensible 属性のうち固定化 (freeze) に関する結果が設定前後で確認してあり、考察もある。 | □オブジェクトの extensible 属性のうち 拡張 (preventExtensions) に関する結果が設定前後の確認のうちどちらかがないか全くない。考察も不十分かない。 □オブジェクトの extensible 属性のうち削除 (seal) に関する結果が設定前後での確認のうちどちらかがないか全くない。考察もも不十分かない。 □オブジェクトの extensible 属性のうち固定化 (freeze) に関する結果が設定前後の確認のうちどちらかがないか全くない。考察も不十分かない。 | 6 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 2 (必須) (4 点) | □実行例 4.4 の Person クラスの prototype の結果があり、考察が 十分にある。 □実行例 4.4 の Person クラスのインスタンスに関する prototype の 結果がある。 □考察が十分にある。 | □実行例 4.4 の Person クラスの prototype の結果がある。 □考察が少し足りない。 | □実行例 4.4 の Person クラスの prototype の結果が十分でないか 間違っている。 | 4 3 2 1 0 |
| 問題 3.1~3.4 (必須) (10 点) | □実行例 5.6 の typeof p.name の値を確認し、正しい考察がある。 □実行例 5.6 の delete p.name の結果が true であるのに p.name がその後も参照できる理由が typeof p.name の値と関連して述べられていて正しい。 □実行例 5.6 における p.birthday にプロパティの追加、消去できるか確認していて、その理由が正しい。 □実 行 例 5.6 に お け る p.birthday.year の 値 が 書き直せる理由が正しい。 | □実行例 5.6 の typeof p.name の値を確認している。 □実行例 5.6 の typeof p.name の値に関する考察が少し足りない。 □実行例 5.6 の delete p.name の結果が true であるのに p.name がその後も参照できる理由が typeof p.name の値と関連して述べられていない。考察が正しくない。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できるか確認している。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できる理由が一部間違っている。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できる理由が一部間違っている。 | □実行例 5.6 の typeof p.name の値を確認していない。 □実行例 5.6 の typeof p.name の値に関する考察がないか足りない。 □実行例 5.6 の delete p.name の結果が true であるのに p.name がその後も参照できる理由が正しくない。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できるか確認が不十分か全くない。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できる理由が間違っているかない。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できる理由が間違っているかない。 □実行例 5.6 の p.birthday にプロパティの追加、消去できる理由が間違っているかない。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 |

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 | |
|-------------------------------|--|--|---|---|--|
| 問題 3.5 (6 点) | □問題 3.4 の理由の基づいて p.birthday.year の値を書き直せないように birthday メソッドを書き直している。 □リストの解説が十分わかりやすい。 | □p.birthday.year の値を書き直せないように birthday メソッドを書き直している。 □Person クラスの構造を変えている。 □クラスに関するリストが一部ない。 □リストの解説が少し不十分である。 | □p.birthday.year の値を書き直せないように birthday メソッドを書き直していいない。 □リストがないか重要な部分が欠けている。 □リストの解説がないか、不十分である。 | 6 5 4 3 2 1 0 | |
| 問題 4 (必須) (5 点) | □Person を継承した Student クラスのエラーチェックをエラーが起きない場合を含めてすべて行っている。 □適切な考察が十分ある。 | □Person を継承した Student クラスの名前のエラーチェックをエラーが起きない場合を含めてすべて行っている。 □Person を継承した Student クラスの生年月日のエラーチェックをエラーが起きない場合を含めてすべて行っている。 □考察が少し足りない。なたは一部間違っている。 | □Person を継承した Student クラスの名前のエラーチェックをエラーが起きない場合を含めて足りないか全く行っていない。 □Person を継承した Student クラスの生年月日のエラーチェックをエラーが起きない場合を含めて足りないか全く行っていない。 □考察がないか足りないまたは間違っている。 | 5 4 3 2 1 0 | |
| 問題 5 (9 点) | □実行例 5.7 においてエラーチェックの不完全な点が十分指摘されている。 □指摘したエラーチェックの不完全な点の改良がすべて正しくなされている。 □改良した点についてのリストがすべてある。 □リストの解説が十分詳しくある。 | □整数であるべきところの入力値が整数でない場合の対処がしてある。 □入力値が NaN となるような場合の対処がしてある。 □その他のエラーチェックがあり、正しく対処している。 □一部のエラーメッセージが不正確である。 □改良した点についてのリストの一部がない。 □リストの解説が一部不十分である。 | □実行例 5.7 においてエラーチェックの不完全な点がほとんど指摘されていないか全くない。 □指摘したエラーチェックの不完全な点の改良が直されていないか正しくない。 □改良した点についてのリストが全くないか、ほとんどない。 □リストの解説がない。 | 9 8 7 6 5 4 3 2 1 | |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

- 1. (必須) 次の文字列にマッチする正規表現を作れ。
 - 1. C 言語の変数名の命名規則に合う文字列。対象とする文字にいわゆる全角文字は考慮しないでよい。
 - 2. 符号付小数。符号はなくてもよい。整数の場合は小数点はなくてもよい。また、小数点はあっても小数部はなくてもよい。整数部分には数字が少なくとも一つはあること。たとえば-1. にはマッチするが、-.0 には整数部分がないのでマッチしない。. のエスケープを忘れないようにすること。
 - 3. 前間の正規表現を拡張して、指数部が付いた浮動小数にマッチするものを作れ。指数部は E または e で始まり、符号付き (なくてもよい) 整数とする。
 - 4. 24 時間制の時刻の表し方。時、分、秒はすべて 2 桁とし、それらの区切りは: とする。たとえば午後 1 時 10 分 6 秒は 13:10:06 である。また、13:10:66 は秒数が 60 以上になっているのでマッチしてはいけない。
 - 5. ファイルの拡張子が.html であるファイル名。ファイル名には使用できない文字やいわゆる全角文字の使用に関して は考慮しなくてよい。
- 2. (必須) 日付を表す文字列 "2017 年 10 月 27 日"から年 (2017)、月 (10)、日 (27) をそれぞれ変数 y、m、d に代入するプログラムをできるだけ短い行数で書け。変数の宣言は不要である。また、入力のチェックも不要である。

| 3. | (必須) 次の実行結果がどうなるか答えよ。理由も述べること。 |
|------------------|---|
| 1. | "aaaabaaabb".match(/.*b/); |
| 2. | "aaaabaaabb".match(/.*b/g); |
| 3. | "aaaabaaabb".match(/.*?b/); |
| 4. | "aaaabaaabb".match(/.*?b/g); |
| 5. | "abccbcckkccaaMMaacc".match(/((.)\2).*\1/); |
| 6. | "abccbcckkccaaMMaacc".match(/((.)\2).*\1/g); |
| 7. | "abccbcckkccaaMMaacc".match(/((.)\2).*?\1/); |
| 8. | "abccbcckkccaaMMaacc".match(/((.)\2).*?\1/g); |
| 9. | "abccbcckkccaaMMaa".match(/((.)\2).*\1/); |
| 10. | "abccbcckkccaaMMaa".match(/((.)\2).*\1/g); |
| 11. | "abccbcckkccaaMMccaa".match(/((.)\2).*\1/g); |
| 12. | "abccbcckkccaaMMccaa".match(/((.)\2).*?\1/g); |
| 4. に直せ | 実行例 5.8 において prompt() の戻り値は文字列である。これを利用して入力値を正規表現を用いてチェックするよう せ。 |
| | |

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次の項目を理解することである。

- 簡単な正規表現を作成できる。
- 正規表現を用いて文字列処理を簡単にする方法を理解する。
- 正規表現における文字列のマッチを理解する。
- 正規表現を用いて文字列が与えられた条件を満たすかどうかをチェックする。

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---------------------------------|--|--|--|-----------------------|
| 問題 1.1 | | □C 言語の変数名の命名規則の先頭 文字の範囲が正しい | □C 言語の変数名の命名規則の先頭 文字の範囲に間違いがある | 3 |
| (必須) (3点) | □C 言語の変数名の命名規則の正規 表現が正しい | □C 言語の変数名の命名規則の 2 文字目以降の範囲が正しい | □C 言語の変数名の命名規則の 2 文 字目以降の範囲に間違いがある | 2 1 |
| | | □C 言語の変数名の命名規則の長さ の指定が正しい | □C 言語の変数名の命名規則の長さ の指定に間違いがある | 0 |
| 問題 1.2 (必須) (4 点) | □符号付小数を表す正規表現が正しい □十分なチェックの報告がある。 | □符号がないか先頭文字になっている。 □整数部分の正規表現が正しい。 □小数点のエスケープをしている。 □小数点がない場合に対処している。 □小数部分が0文字以上の正規表現である。 □*と?の区別ができている。 □マッチする場合のチェックの報告がある。 □マッチしない場合のチェックの報告がある。 | □符号の指定が間違っている。 □整数部分の正規表現の部分が間違っている。 □小数点のエスケープをしていない。 □小数部分の正規表現が間違っている。 □*と?の区別ができていない。 □マッチする場合のチェックの報告がない。 □マッチしない場合のチェックの報告がない。 | 4 3 2 1 0 |
| 問題 1.3 (必須) (3 点) | □仮数部の部分が正しい。 □指数部の部分が正しい。 □十分なチェックの報告がある。 | □仮数部の符号の部分が正しい。 □仮数部の小数点の部分が正しい。 □仮数部の小数部の部分が正しい。 □指数部の正規表現が正しい。 □指数部の符号がない場合も含めている。 □指数部がない場合も含めている。 □マッチする場合としない場合のチェックの報告がある。 | □仮数部の符号の指定が間違っている。 □仮数部の小数点の指定が間違っている。 □仮数部の小数部の指定が間違っている。 □指数部の指定が間違っている。 □*と?の区別ができていない。 □マッチする場合としない場合のチェックの報告がない。 | 3 2 1 0 |
| 問題 1.4 (必須) (3 点) | □時間の部分の正規表現が正しい。 □分と秒の部分の正規表現が正しい。 □十分なチェックの報告がある。 | □時間の部分の正規表現が正しい。□分と秒の部分の正規表現が正しい。□マッチする場合としない場合のチェックの報告がある。 | □文字列としてマッチする表現になっていない。 □時が 24 以上の値にマッチする。 □分、秒が 60 以上の値にマッチする。 □マッチする場合としない場合のチェックの報告がない。 | 3 2 1 0 |

次のページに続きがあります

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|--|--|--|--|---|
| 問題 1.5 (必須) (3 点) | □拡張子の前部分の正規表現が正しい。 □拡張子の部分の正規表現が正しい。 □十分なチェックの報告がある。 | □拡張子の前部分の正規表現が正しい □拡張子の部分の正規表現が正しい □\$の使い方を理解している。 □マッチする場合としない場合のチェックの報告がある。 | □拡張子の前部分の正規表現が間違っている。 □拡張子の部分の正規表現が間違っている。 □\$の使い方を理解していない。 □マッチする場合としない場合のチェックの報告がない。 | 3 2 1 0 |
| 問題 2 (必須) (5 点) | □一つの文で書かれていて正しく動作する。□考察が正しい。 | □split メソッドまたは match メソッドを用いている。 □正規表現を利用している。 □分割代入を利用している。 □考察が少し足りない。 | □split メソッドまたは match メソッドを用いていない。 □正規表現を利用していない。 □分割代入を利用していない。 □考察がないか、足りない。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 3.1~ 3.4 (必須) (4 点) | □結果がすべて正しい。 □考察が適切である。 | □g フラグを理解している。□貪欲なマッチと非貪欲なマッチの区別を理解している。 | □g フラグを理解していない。 □貪欲なマッチと非貪欲なマッチの 区別を理解していない。 | 4 3 2 1 0 |
| 問題 3.5~ 3.8 (必須) (4点) | □結果がすべて正しい。 □考察が適切である。 | □g フラグ有無で結果が異なることを正しく理解している。 □貪欲なマッチと非貪欲なマッチの区別を正しく考察している。 □前方参照を理解している。 □戻り値がどのように決まるのかを正しく考察している。 | □g フラグ有無で結果が異なることを考察していない。 □食欲なマッチと非食欲なマッチの区別を正しく考察していない。 □前方参照を理解していない。 □戻り値がどのように決まるのかを考察していないか、間違って理解している。 | 4 3 2 1 0 |
| 問題 3.9~ 3.12 (必須) (6 点) | □結果がすべて正しい。 □考察が適切である。 | □g フラグ有無で結果が異なることを正しく理解している。 □貪欲なマッチと非貪欲なマッチの区別を正しく考察している。 □前方参照を理解している。 □戻り値がどのように決まるのかを正しく考察している。 | □g フラグ有無で結果が異なることを考察していない。 □食欲なマッチと非食欲なマッチの区別を正しく考察していない。 □前方参照を理解していない。 □戻り値がどのように決まるのかを考察していないか、間違って理解している。 | 6 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 4 (10 点) | □年、月、日の入力のチェックの第1 段階として正規表現を用いて行っ ている。 □考察が適切である。 | □年の入力のチェックの第1段階として正規表現を用いて行っている。 □月の入力のチェックの第1段階として正規表現を用いて行っている。 □日の入力のチェックの第1段階として正規表現を用いて行っている。 □考察が少し足りない。 | □年の入力のチェックを正規表現を 用いて行っていない。 □月の入力のチェックを正規表現を 用いて行っていない。 □日の入力のチェックを正規表現を 用いて行っていない。 □考察が足りないか全くない。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

| 1. | (必須) | 課題 7 1 | の間に答えなさい。 |
|----|------|--------|-----------|
| | | | |

| (a |) n(ここでのリストの設定) |
|-------|--|
| | |
| (b |) 2n |
| (c |) n+3 |
| (d | |
| 2. 背 | |
| (a |)偶数番目が黄色、奇数番目がオレンジ色 |
| (b |) 1番目、4番目、のように3で割ったとき、1余る位置が明るい灰色 |
| (c |) 4番目以下がピンク |
| (d |) 下から2番目以下が緑色 |
| 実行 | テ例 7.2 の JavaScript でプルダウンメニューを作成するリストに対して次の問に答えなさい。 |
| 1. (必 | 須) ブラウザの「ページのソースを表示」を選択して、ソースコードがどのようになっているか確認する。 |
| | 須)DOM ツリーが実行例 7.2 のリストと同じようにできていることを確認する。 |

きるようにしなさい。関数の引数を工夫すること。

3. (必須)65 ページから始まるリストと 66 ページから始まるリストにおける**<select>**要素の子要素の数を調べよ。異なる場合にはその理由を述べよ。

document.getElementsByTagName("select")[0].childNodes.length を使うかコンソールに出力して調べるのもよい。また、document.getElementsByTagName("select")[0].childNodes[0].nodeType も調べるとよいかもしれない。また、childNodesの代わりに children を用いたらどうなるかも調べるとよい。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次の項目を理解することである。

- CSS セレクタの基礎を理解する。
- ブラウザで DOM ツリーの構造を調べる方法を取得する。
- 実行時に DOM を作成する方法を理解する。
- childNodes と children の違いを理解する。

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---|---|--|---|---|
| | | □(a) の結果が正しい。 | □多くの結果が間違っている。 | |
| | □すべての結果が正しく説明されて | □(b) の結果が正しい。 | □(a) の考察ががないか間違ってい | 8 |
| | いる。 | □(c) の結果が正しい。 | る。 □(1)の本会ぶぶかいか問告。てい | 7 |
| 問題 1.1 (必須) (8 点) | □リストの数をを増減して問題以外 の場合も確認して、考察が正しい かを検証している | □(c) の説明がリストの数が与えら れた場合(6)のときだけ正しい。 | □(b) の考察ががないか間違っている。 | 6 5 4 |
| | □結果を説明するために十分な数の | □(d) の結果が正しい。 | │ □(c) の考察ががないか間違ってい │ る。 | 3 |
| | キャプチャ画面がある □キャプチャ画面の大きさが結果を | □(d) の説明がリストの数が与えら れた場合(6)のときだけ正しい。 | □(d) の考察ががないか間違ってい る。 | 2 1 0 |
| | 説明するために十分である | □キャプチャ画面の大きさが結果を 説明するためは大きすぎる。 | □結果を説明するキャプチャ画面が ないか少なすぎる。 | |
| | | □(a) の結果が正しい。 | □多くの結果が間違っている。 | |
| | □すべての結果が正しく説明されて | □(b) の結果が正しい。 | □(a) の考察ががないか間違ってい | 8 |
| | N3. | $\square(c)$ の結果が正しい。 | 3. | 7 |
| 問題 1.2 | □リストの数をを増減して問題以外 の場合も確認して、考察が正しい かを検証している | □(c) の説明がリストの数が与えら れた場合(6)のときだけ正しい。 | □(b) の考察ががないか間違っている。 | 6 5 4 |
| (8点) | □結果を説明するために十分な数の | □(d) の結果が正しい。 | │□(c) の考察ががないか間違ってい │ る。 | 3 |
| | キャプチャ画面がある □キャプチャ画面の大きさが結果を | □(c) の説明がリストの数が与えら れた場合 (6) のときだけ正しい。 | □(d) の考察ががないか間違っている。 | $\begin{bmatrix} 2\\1\\0 \end{bmatrix}$ |
| | 説明するために十分である | □キャプチャ画面の大きさが結果を 説明するためは大きすぎる。 | □結果を説明するキャプチャ画面が ないか少なすぎる。 | |
| | □ブラウザの「ソースの表示」の適 切な大きさのキャプチャがある。 | □ブラウザの「ソースの表示」のキャ プチャが大きすぎる。または小さ くて内容が読みにくい。 | □ブラウザの「ソースの表示」のキャ プチャがない。または間違ったも のをキャプチャしている。 | 6 |
| 問題 2.1~ 2.2 (必須) (6 点) | □DOM ツリーを展開して、 <pre><option>要素がすべて見えるようにして、内容が読める程度の大きさのキャプチャがある。</option></pre> | □DOM ツリーを展開して、 <pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre> | □DOM ツリーを展開していない。または、 <option>要素がすべて見えるキャプチャがない。大きさが小さくて内容が全く読めない。</option> | 5 4 3 2 1 |
| | □十分な量の考察がある。 | は図が大きすぎる。 □考察があが、内容の一部に間違い、 不十分な点がある。 | □考察がない。または、内容が間違っている。 | 0 |

次のページに続きがあります

ソフトウェア開発課題第7回演習-p.4

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|--------------|--|--|---|-------------|
| | | □ <option>要素の初期値が指定できる。</option> | □ <option>要素の初期値が1に固定 されている。</option> | |
| | □要求した仕様に合う関数が定義さ | □ <option>要素の最後の値が指定で きる。</option> | □ <option>要素の最後の値が固定されている。</option> | 8 7 |
| 問題 2.3 | れている。 □定義した関数のリストがあり、十 | れている。 | □表示する数字の前後の文字のいず れかまたは両方が指定ができない。 | 6 5 4 |
| (8 点) | 分な解説がある。 □実行結果のキャプチャの大きさが | □リストの解説が少し不十分である。 | □リストの解説がないか、不十分で ある。 | 7 6 5 |
| | 適切である。 | □作成したプルダウンメニューを開いたキャプチャがある。 | □作成したプルダウンメニューを開 いたキャプチャがない。 | * |
| | | □実行結果のキャプチャの大きさが 大きすぎるが、小さすぎる。 | □実行結果のキャプチャの内容が読 めない。 | |
| | の子要素の数を調べていて、のキャプチャ画面がある。 □ <select>要素の子要素の数を正しく調べている。 □2 つのリストの子要素の違いについて理由が正しい。 □2 かのサストの子要素の違いについて理由が正しい。 □ childNodes の代わりに child</select> | | □65ページから始まるリストに関する子要素の数の調べ方が間違っている。 | |
| | | ンソールに出力して2つのリスト | □65ページから始まるリストに関す る子要素の数が間違っている。 | |
| 問題 3 | | のキャプチャ画面がある。 □childNodes[0].nodeType を調 | □66ページから始まるリストに関する子要素の数の調べ方が間違っている。 | 6 5 |
| (必須) (7点) | | ある。 | □66ページから始まるリストに関す る子要素の数が間違っている。 | 3 |
| | | で調べている結果のキャプチャ画 面がある。 | □childNodes[0].nodeType で調 べていない。また、結果のキャプ チャ画面がない。 | _ |
| | | □考察が少し不十分である。 | □childNodesの代わりに children で調べていない。 | |
| | | | □考察がないか、間違っている。 | |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

1. (**必須**) 次のようなオブジェクトをもとにプルダウンメニューを作成する JavaScript の関数を作成しなさい。 関数に渡すオブジェクト:{"red": "赤", "orange":"橙", "yellow":"黄色", "green":"緑"} 作成される DOM

<select>

<option value="red">赤</option>

<option value="orange">橙</option>

<option value="yellow">黄色</option>

<option value="green">緑</option>

</select>

また、18行目から22行目にあるようなラジオボタンを作成する関数も作成しなさい。

- 2. (必須) 実行例 8.1 において次のことを行いなさい。
 - 1. 10 行目にある 3 つの < div > の大きさを大きくする。大きさは、ブラウザの表示画面を小さくしたときに、画面のスクロールバーが出るようにすること。テキストボックスを作成して大きさを変えるようにしてもよい。
 - 2. スクロールバーが表示された状態で、10 行目にある 3 つの<div>の場所をクリックしたときの clientX などの値を確認する。確認する際には毎回同じような場所をクリックすること。また、スクロールさせて表示される値に違いがあるか確認すること。
 - 3. 18 行目から 22 行目にあるラジオボタンをクリックしたときのイベントの target と currentTarget の値を確認する。
- **3.** 気象庁の天気予報のページ http://www.jma.go.jp/jp/yoho/000.html では天気予報の地域を選択する2つのプルダウンメニュー「地方」と「府県」が並んでいる。「地方」のプルダウンメニューで選択を変えると、「府県」のプラウダウンメニューが変化する。このとき、URL が移動している。

このようなプルダウンメニューをページを移動しないで実現しなさい。次の点に注意すること。

- 「地方」のデータとそれに属する「府県」のデータをオブジェクトとして持つ。
- そのデータを元にして2つのプルダウンメニューをできればプログラムで作成する。
- プルダウンメニュー以外は作成する必要はない。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は次の項目を理解することである。

- クリックイベントで得られる情報の理解と利用法
- DOM ツリーをプログラムから制御する技法が使える
- イベントの発生で DOM の構造を変化させる技法を理解する

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---------------------------------|---|---|---|--|
| | | □オブジェクトリテラルのデータからプルダウンメニューの作成しているが改良の余地がある。 | □オブジェクトリテラルのデータか らプルダウンメニューの作成して いない。 | |
| | □オブジェクトリテラルのデータか らプルダウンメニューの作成して | □プラウダウンメニューの作成を汎 用性が足りない関数で行っている。 | □プラウダウンメニューの作成を関 数で行っていない。 | |
| | いる。 □プラウダウンメニューの作成を汎 用性がある関数で行っている。 | □オブジェクトリテラルのデータか らラジオボタンのメニューの作成 している。 | □オブジェクトリテラルのデータからラジオボタンのメニューの作成していない。 | 8 7 |
| 問題 1 (必須) | □オブジェクトリテラルのデータからラジオボタンのメニューの作成 している。 | □ラジオボタンのメニューの作成を 汎用性が足りない関数で行ってい | □ラジオボタンのメニューの作成を 関数で行っていない。 | 6 5 4 |
| (8点) | □ラジオボタンのメニューの作成を 汎用性がある関数で行っている。 | る。 □結果を説明するためにページの ソースのキャプチャ画面がある | □結果を説明するためにページの ソースのキャプチャ画面がない。 | 3 2 |
| | □結果を説明するために十分な数の キャプチャ画面がある | □結果を説明するために DOM ツ リーのキャプチャ画面がある | □結果を説明するために DOM ツ リーのキャプチャ画面がないか、結 果を示すために重要な部分が欠け | 0 |
| | □キャプチャ画面の大きさが結果を 説明するために十分である | □キャプチャ画面の大きさが結果を 説明するために少し小さすぎて内 容が読めない。 | ている。 □キャプチャ画面の大きさが結果を 説明するために小さすぎる。 | |
| | | □キャプチャ画面の範囲が結果を説 明するために一部欠けている。 | □キャプチャ画面の範囲が結果を説 明するためには不十分である。 | |
| | □ <div>の大きさを CSS の値を直して十分大きくしている。</div> | □ <div>の大きさを CSS の値を直し て大きくしているが、大きさが不 十分である。</div> | □ <div>の大きさを CSS の値を直していない。</div> | 4 |
| 問題 2.1 (必須) | □画面を調整して、スクロールバー が表示されている。 | □画面を調整しないで、スクロール バーが表示されている。 | □画面を調整しないので、スクロー ルバーが表示されていない。 | 3 2 |
| (4 点) | □テキストボックスから大きさの変 更ができるようになっている。 □リストやその解説、考察が十分に | □テキストボックスから大きさの変 更ができるようになっていない。 | □テキストボックスから大きさの変 更ができるようになっていない。 □リストやその解説、考察が不十分 | $\begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ |
| | as | □リストやその解説、考察がある | であるかない | |
| 問題 2.2 (必須) (4 点) | □スクロールバーが表示された状態でかつスクロールバーを少し移動した状態でclientXなどの値の確認を行っている。 | □スクロールバーが表示された状態 であるが、スクロールバーの位置が 上端または左端の位置にある状態 で clientX などの値の確認を行っ ている。 | □スクロールバーが表示された状態でない。 □スクロールバーの位置が上端または左端の位置にある状態でclientXなどの値の確認を行っている。 | 4 3 2 1 |
| (4 点) | る。 □リストやその解説、考察が十分に | □確認する値が 4,5 種類しかない。 □リストやその解説、考察がある。 | □核にしてある値の種類が 2,3 しゅらういしかない。 | 0 |
| | ある | | □リストやその解説、考察がないか 不十分である。 次のページに続きがあります | |

次のページに続きがあります

ソフトウェア開発課題第8回演習-p.3

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---------------------------------|--|--|--|---|
| 問題 2.3 (必須) (4 点) | □ラジオボタンやその文字の部分をクリックしたときの target と currentTarget の値の確認が十分にある。 □確認している位置の種類が十分ある。 □リストやその解説、考察が十分ある。 | □ラジオボタンやその文字の部分をクリックしたときの target と currentTarget の値の確認が少しある。 □確認している位置の種類が少しある。 □リストやその解説、考察がある。 | □ラジオボタンやその文字の部分を クリックした位置の種類が不十分 である。 □target と currentTarget の値の 確認がないか不十分である。 □確認している位置の種類が足りな い。 □リストやその解説、考察が不十分 であるか全くない。 | 4 3 2 1 0 |
| 問題 3 (15 点) | □「地方」と「府県」の関連付けがなされたデータ構造が作成されている。 □データに基づいてプルダウンメニューが構成されている。 □weakMapまたはオブジェクトを用いて「府県」のデータ管理を行っている。 □正しく動作する。 □リストとその解説が十分にある。 | □「地方」と「府県」の関連付けが不十分なデータ構造が作成されている。 □「府県」のプルダウンメニューが変化のたびごとに新規に作成されている。 □データに基づいてプルダウンメニューが構成されているが、汎用性が少し低い。 □一部動作におかしいところがある。 □リストとその解説がある。 | □「地方」と「府県」の関連付けがないデータが作成されている。 □データに基づいてプルダウンメニューが構成されているない。 □ほとんど期待したように動作しない。 □リストとその解説が不十分であるか全くない。 | 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 名 | 採点 |
|---|----|
| | |
| | |

| 1. | (必須)PHP | ≥ JavaScript | で if(変数) | と==の結果が異なるものを指摘しなさい。 |
|----|---------|--------------|----------|----------------------|
|----|---------|--------------|----------|----------------------|

2. (必須) 実行例 9.1 で print_r() 関数の代わりに var_dump() 関数を用いて出力がどのように変わるか確認しなさい。

```
3. array_splice() 関数を用いて、array_pop()、array_push()、array_shift()、array_unshift() 関数の機能を実現しなさい。
```

```
1. array_pop()
2. array_push()
3. array_shift()
4. array_unshift()
```

```
4. 次の PHP のプログラムリストを実行した結果について下記の問いに答えよ。
<?php
A = 2;
                  //JavaScript のときは $ は取り除く。
B = 5;
print "1:$A+$B\n"; //JavaScriptのときは print は console.log() になおす。
                 //文字列はテンプレートリテラルに、変数の埋め込みの形に直す。
print "2:"+$A+$B+"\n";
print "3:".$A+$B."\n";//JavaScript のときは省略すること
print sum(10,20,30)."\n";
print sum(10,20)."\n";
print sum(10,20,30,40)."\n";
print sum2(10,20)."\n";
function sum($a,$b,$c){
 return $a+$b+$c;
function sum2($a,$b){
 return $A+$B;
```

?>

| トアウト | 記のプログラムを JavaScript に直して実行し、その結果を報告する (変数名の\$は省略する。6行目はコメンすること)。また、文字列の出力部分はテンプレートリテラルに直すこと。正しく動かない場合には修正してなものとすること。 |
|----------|--|
| | |
| 3. 上記の 2 | つのことから JavaScript と PHP における文法の異なる点を一覧の形でまとめなさい。 |
| 項目 | 説明 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

1. (必須) このリストを実行した結果について報告しなさい。なお、このプログラムは PHP の文法を理解するためのも

のなので、警告などが表示されるので、その内容についても報告、考察すること。

| 科目名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

復習の目的は JavaScript と PHP の文法上の違いを理解することである。具体的な項目についてはルーブリック評価表の 内容を確認すること。 レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|---------------------------------|---|---|--|---|
| 問題 1 (必須) (10 点) | □PHP と JavaScript の if(変数) の結果の違いを具体例を交えて十分に挙げている。 □PHP と JavaScript の== の結果の違いを具体例を交えて十分に挙げている。 □挙げた項目それぞれに正しい考察がある。 | □if("0")の結果がある。 □if(空の配列)の結果がある。 □2つの内容が同じ配列の比較の結果がる。 □空の配列と数0の比較の結果がある。 □2つの文字列"00"と"0"の比較の結果がある。 □そのほか結果が異なる例を挙げている。 □挙げた項目それぞれに考察があるが、一部間違っているところがある。 | □PHP と JavaScript の if(変数) の結果の違いがないか具体例が ない。 □PHP と JavaScript の== の結果の 違いがないか具体例がない。 □挙げた項目それぞれに考察がない かほとんど間違っている。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |
| 問題 2 (必須) (5 点) | □var_dumpの結果のキャプチャがある。 □適切な大きさの実行結果がわかる 画面がある。 □解説、考察が十分にある。 | □var_dumpの結果のキャプチャがあるが少し見にくい。 □実行結果がわかる画面が少し見にくい。 □解説、考察が少し不十分である。 | □var_dump の結果のキャプチャがないか見にくい。 □実行結果がわかる画面がないか見にくい。 □解説、考察がないか不十分である。 | 5 4 3 2 1 0 |
| 問題 3 (12 点) | □array_splice() による書き直しがすべて正しい。 □書き直した結果に関する十分な実行結果がある。 □正しい解説、考察が十分にある。 | □array_pop()の array_splice()による書き直しが正しい。 □array_push()の array_splice()による書き直しが正しい。 □array_shift()の array_splice()による書き直しが正しい。 □array_unshift()の array_splice()による書き直しが正しい。 □array_splice()による書き直しが正しい。 □書き直した結果に関する実行結果がある。 □解説、考察があるが少し不十分である。 | □array_pop()の array_splice()による書き直しがないか間違っている。 □array_splice()による書き直しがないか間違っている。 □array_shift()の array_splice()による書き直しがないか間違っている。 □array_unshift()の array_splice()による書き直しがないか間違っている。 □array_splice()による書き直しがないか間違っている。 □書き直した結果に関する実行結果がないか不十分である。 □解説、考察がないか不十分である。 | 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |
| 問題 4.1 (必須) (5 点) | □実行結果がすべて正しい。 □実行結果のキャプチャ画面が読み やすく、適切な大きさである。 □考察が十分にある。 | □実行結果の一部が正しくない。 □実行結果のキャプチャ画面が読みやすくなく、適切な大きさではない。 □考察が少し足りないか一部間違っている。 | □実行結果が正しくないか全くない。□実行結果のキャプチャ画面がないか、適切な大きさではない。□考察がないか間違っている。 | 5 4 3 2 1 0 |

次のページに続きがあります

ソフトウェア開発課題第 9 回演習-p.4

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|----------------------------------|--|--|--|---|
| 問題 4.2 (必須) (10 点) | □JavaScript に直したプログラムの 文法エラーについて十分な指摘が ある。 □JavaScript に書き直したプログラ ムが実行できるように最小の修正 を行っている。 □書き直した JavaScript のプログラ ムの実行結果が正しい。 □考察が十分にある。 | □JavaScript に直したプログラムにおける関数の宣言位置を直している。 □JavaScript に書き直したプログラムの実行できるように修正した結果の実行結果が正しい。 □適切な考察がある。 | □JavaScript に直したプログラムの 文法エラーについて指摘がないか 不十分である。 □JavaScript に書き直したプログラムが実行できるように修正を行っ ていないか、余計な部分を追加している。 □考察が十分にある。 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |
| 問題 4.3 (15 点) | □2 つのプログラムの実行結果から 判る文法上の指摘が十分にある。 □比較結果の内容が十分にあり、説 明も適切である。 | □文字列の連接に関する指摘がある。 □関数の不足する引数や多すぎる引数に対する処理について正しい指摘がある。 □関数の宣言位置に関する指摘が正しい。 □変数のスコープルールに関する指摘が正しい。 □そのほか、文法や処理の違いに関する指摘がある。 □比較結果の内容があり、説明もほとんど正しい。 | □2 つのプログラムの実行結果から 判る文法上の指摘が不十分である かない。 □比較結果の内容や説明ががないか 不十分である。 | 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

| 1. | (必須)PUT | と GET を用い | たHTMLフ | アイルで実 | ぼ行後の U | JRL がどう | うなって | いるか確認 | 尽しなさい。 | さらに、 | 実行例 10.1 |
|----|-----------|--------------|------------|-----------|--------|----------|------|----------|------------|----------|-----------|
| のP | HP のプロク | ブラムを直接 U | JRL に記述し | て呼び出 | したらど | うなるか。 | また、 | Form.set | Attribute(| "method" | ,"POST"); |
| の部 | 分を Form.s | setAttribute | ("method", | "PUT"): % | こ変更して | C PUT によ | る通信 | の場合につ | いて調べよ | 0 | |

2. (必須)foreach 構文を用いて\$_SERVER の内容を表示し、それらの値を確認せよ。この内容には個人情報が含まれるので、キーとしてどのようなものがあるかを報告すればよい。

- 3. 実行例 10.2 で次のことを行いなさい。
 - 1. (必須) デベロッパーツールから「Application」タブ (Chrome の場合) を開き、Local Storage の内容を確認する。
 - 2. (必須) このページのタブを閉じ、いったんブラウザを終了してから再度、このページを開いたときに、以前のデータがそのまま表示されることを確認する。
 - 3. (**必須**)localStorage の代わりに sessionStorage に変更したとき (リストの 3 行目をコメントにし、4 行目のコメントを外す) に、1 と 2 がどのように変わるか調べる。
 - 4. AccessList.every となっている部分を AccessList.some でも正しく実行できるようにする。

| | ソフトウェア開発課題第 10 回演習-p |
|----|---|
| 4. | いくつかのサイトにおいて Storage が利用されているか、どのようなデータが保存されているか調べよ。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| _ | |
| 5. | (必須) 上の HTML のリストの 85 行目のとの空白を取り除いたら正しく動かなくなることを確認せよ。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

今回の復習の内容はサーバーとの間でのデータのやり取りの基本を理解することである。

- POST と PUT による通信方法の違い
- HTML5 で導入された WebStorage の使い方の基本
- 非同期通信の理解と利用の基礎

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあれば裏の余白に書いてください。

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|-------------------------------|---|---|--|---|
| | □PUT と POST の際の URL の違いに ついて正しく指摘している。 □PUT と POST の際の URL の違いの | □PUT と POST の際の URL の違いに ついての指摘が少し不十分である。 | □PUT と POST の際の URL の違い についての指摘がないか不十分で ある。 | |
| | 考察が適切である。 □PUT の場合について URL を直接 | □PUT と POST の際の URL の違いの 考察が少し不十分である。 | □PUT と POST の際の URL の違いの 考察がないか不十分である。 | 6 5 |
| 問題 1 (必須) (6 点) | 記述した実行結果においてフォーム内で定めた値以外を指定するなど十分に行っている。 | □PUT の場合について URL を直接 記述した実行結果がフォーム内で 与えるデータだけである。 | □PUT の場合について URL を直接 記述した実行結果が足りないか全 くない。 | 4 3 2 |
| | □PUT の場合について URL を直接 記述したときの問題点の指摘があ り、考察も適切である。 | □PUT の場合について URL を直接記述したときの問題点の指摘が不十分であるか、考察が不十分である。 | □PUT の場合について URL を直接 記述したときの問題点の指摘がな いか、考察がない。 | 0 |
| | □実行結果のキャプチャで URL の部分などが見やすく量も十分にある。 | □実行結果のキャプチャに見にくい 部分があるか少し足りない。 | □実行結果のキャプチャがないか重 要な部分が見にくい。 | |
| | □\$_SERVERで表示される内容につい | □\$_SERVERで表示される内容についての報告が少し足りない。 | □\$_SERVERで表示される内容についての報告が少し足りない。 | 6 |
| 問題 2 (必須) | ての報告が十分にある。 | □\$_SERVERで表示される内容についてセキュリティ上の面からの考察 | □\$_SERVERで表示される内容についてセキュリティ上の面からの考察 | 5 4 3 |
| (6 点) | てセキュリティ上の面からの考察を含めて十分にある。 | がない。 □\$_SERVERで表示される内容につい てのその他の項目について十分な 考察が足りない。 | がない。 □\$_SERVERで表示される内容につい てのその他の項目について十分な 考察が足りない。 | 2 1 0 |
| | □localStorage の値の確認が十分 にある。 | □localStorage の値の確認が少し 足りない。 | □localStorage の値の確認が足りないか全くない。 | 8 |
| 問題 3.1~ | □ブラウザをいったん閉じた後の localStorage の値の確認が十分 にある。 | □ブラウザをいったん閉じた後の localStorage の値の確認が少し 足りない。 | □ブラウザをいったん閉じた後の localStorage の値の確認がない か足りない。 | 7 6 5 |
| 3.3 (必須) (8 点) | □sessionStorage に変えたときに localStorage との違いが判る確 認が十分にある。 | □sessionStorage に変えたときに localStorage との違いが判る確 認が少し足りない。 | □sessionStorage に変えたときに localStorage との違いが判る確 認がないか足りない。 | 4 3 2 |
| | □sessionStorage と localStorage との違いがに 関する考察が十分にある。 | □sessionStorage と localStorage との違いがに 関する考察がある。 | □sessionStorage と localStorage との違いがに 関する考察がない。 | 0 |
| 問題 3.4 | □配列のメソッド every を some に 直したプログラムが正しく動作す る。 | □配列のメソッド every を some に 直したプログラムが一部正しく動 作しない。 | □配列のメソッド every を some に 直したプログラムが正しく動作し ない。 | 5 4 3 2 |
| (5 点) | □プログラムの解説と考察が適切である。 | □プログラムの解説と考察がないか 足りない。 | □プログラムの解説と考察が足りな いか全くない。 | $\begin{bmatrix} 2\\1\\0 \end{bmatrix}$ |
| | | □WebStorage が使用されているサ イトの報告がある。 | □WebStorage が使用されていない サイトの報告である。 | 5 |
| 問題 4 | □WebStorage が使用されているサイトの報告があり、キャプチャ画面も適切である。 | □キャプチャしている場所が正しい。 | □キャプチャしている画面が見にくい。 | 4 3 |
| (5 点) | □WebStorage の内容について十分 | □キャプチャ画面が少し見にくく、内 容が確認できない。 | □キャプチャする場所が間違ってい る。 | 2 1 |
| | な考察がある。 | □WebStorage の内容について考察 が少し足りない。 | □WebStorage の内容について考察がないか不十分である。 | 0 |

ソフトウェア開発課題第 10 回演習-p.4

| 評価項目 | 優れている | 標準的 | 改良の余地あり | 評価 |
|-------------------------------|--|---|--|----------------------------|
| 問題 5 (必須) (5 点) | □空白がないと正しく動かない適切 なキャプチャ画面がある。 □考察が正しい。 | □空白がないと正しく動かないキャ プチャ画面の内容が確認しづらい。 □考察が少し不十分である。 | □空白がないと正しく動かないキャプチャ画面の内容が間違っているかない。□考察が不十分であるかない。 | 5 4 3 2 1 0 |

レポートに関してもう一度解説してほしいところがあればこの下に書いてください。

ソフトウェア開発課題第 11 回演習-p.1

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

ソフトウェア開発課題第 12 回演習-p.1

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

ソフトウェア開発課題第 13 回演習-p.1

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |

ソフトウェア開発課題第 14 回演習-p.1

| 科 目 名 | 学科●組 | 学 籍 番 号 | 氏 名 | 採点 |
|----------|------|---------|-----|----|
| ソフトウェア開発 | | | | |